

国道209号 太神自歩道整備事業

概 要

本事業は、自転車歩行車道を整備することにより、児童を含む歩行者等の安全・安心な歩行空間を確保するとともに、右折レーン設置により、直進阻害を解消し、交通事故防止を図るものです。

現 状

当該箇所は、近傍に南(みなみ)小学校及びJR南瀬高(みなみせたか)駅が立地し、多くの児童を含む歩行者等が利用する区間となっていますが、歩道が断続的かつ狭隘であるため、児童を含む歩行者等の安全が確保されていない状況です。また、南瀬高駅前交差点においては、右折待ち車両による直進阻害及び追突事故等が発生しています。

今 後

令和元年度は、用地買収及び工事を推進します。

整 備 効 果

自歩道整備により、安心・安全な歩行空間の確保を図ります。

【死傷事故率(H23～H26)：296件/億台キロ】

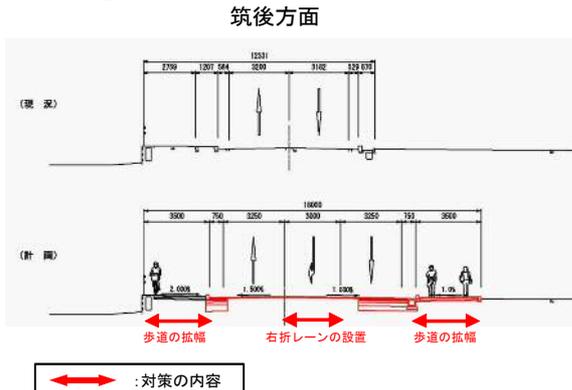
【位置図】



【位置平面図】



【横断図】



【整備前状況写真】



歩道が狭いため車道を通行する自転車